



# Michishirube

第1弾 外国人向け福島の魅力を発掘!





# 川俣町

## 「コスキンの町」川俣町

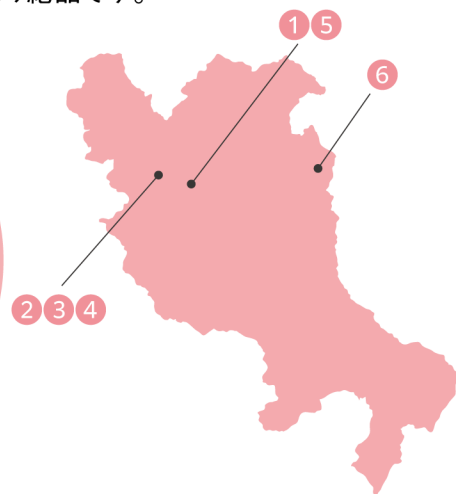
コスキンとはアルゼンチンの都市の名前。毎年コスキン・エン・ハポンという中南米音楽祭が開催されています。南米発祥のケーナ(たて笛)は小学校で学習します。シルク、川俣シャモ、アンスリウム、中南米音楽祭と見どころがいっぱいの川俣町。朝ドラ「エール」で話題になった古関裕而の青春時代を過ごした町でもあります。織物やそば打ち体験が出来るのも魅力。シャモは脂っぽくないのに深みのあるコク、適度な弾力があり絶品です。



川俣町役場



川俣町  
公式動画



① コスキン・エン・ハポンは毎年10月頃3日間にわたり開催され国内外のプロも参加する。中央公民館で行われる。



② 織織・染色体験は通年行っている。コースターやハンカチなどを作ることができる。申込は川俣町おりもの展示館からりこ館で。



③ 道の駅かわまたには、銘品館シルクピアや川俣シャモが食べられるレストランshamoll、直売所などが接続している。



④ 「復興のシンボル」かわまたアンスリウム。土を使用せずポリエステル媒地を使用して栽培している。道の駅でも購入できる。



⑤ かわまたシャモまつり。福島県ブランド認証地鶏！ステージショーやブース出展もある。中央公民館で開催される。



⑥ 4月～11月の間にそば打ち体験ができる。自分で作るそばは絶品のはず。申込は川俣町農林振興課農業振興係まで。



# 飯舘村

## 「日本で最も美しい村」連合に加盟する飯舘村

復興拠点である道の駅までい館が見えてくると、一面に広がる花畑がお出迎えしてくれました。写真のようなたくさんのキバナコスモスを見たのは初めてで感動。お世話をしている方々が「あっちの方が写真映えるよ!」と教えてくれました。「日本で最も美しい村」に相応しくキレイな花々や緑、星空がある飯舘村。村の方々が花を植え、丁寧に真心を込めて手入れされているのが伝わってきます。じっくりと、ていねいに「までい」の精神を大切にしている飯舘村です。



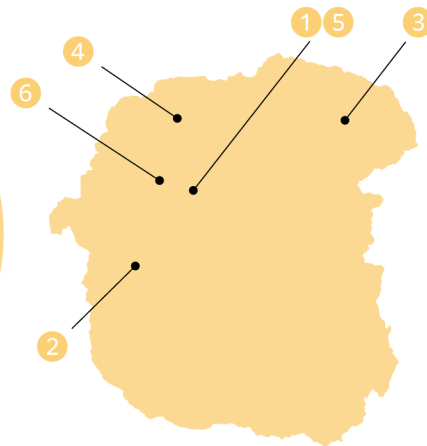
飯舘村  
iitate village



飯舘村  
観光情報サイト



飯舘村公式  
YouTube



①道の駅までい館向かいに広がるキバナコスモスの花畑。8月から9月上旬までが見頃。村復興公社の皆さんが丁寧に手入れを行っている。



②飯舘復興の桜。約3000本の桜が村道から山の斜面まで一面に広がっている。夫婦で大切に育ててきた桜にボランティアが集い手入れをしている。



③真野ダム・はやま湖は四季折々の自然が楽しめる場所。新緑や紅葉の時期は絶景。はやま湖展望台から真野ダムを一望できる。



④県道31号浪江国見線沿いに広がるひまわり畑。個人の敷地とは思えない広大な敷地で「見学どうぞ」の看板が快く迎えてくれる。



⑤ナツハゼソフト。村の方が手作りしたジャムで、ステーキのソースなど幅広く使われている。道の駅までい館では、名物のえごまソフトも食べられる。



⑥村民の森あいの沢。水辺や野原から美しい季節の移ろいを感じられる。キャンプ場や入浴施設もあり宿泊できる自然体験スポット。



# 葛尾村

# 「人との繋がりがあたたかい」葛尾村

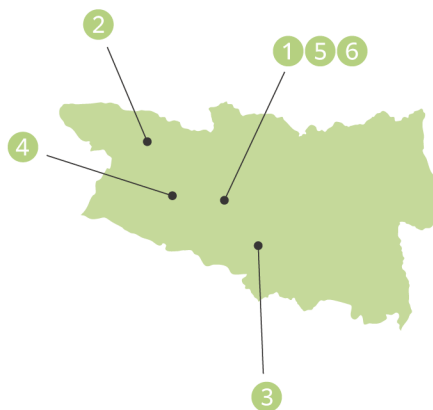
山に囲まれている葛尾村に入ると一気に涼しく心地よい雰囲気。役場、食堂、お店でもみんなゆったりあたたかく迎えてくれます。石井食堂の名物大盛チャーハンはお山盛りで食べきれなかったですが、持帰り用パックがお店に用意されていて「どうぞ～」とニコニコで渡してくれました。かつらお胡蝶蘭では胡蝶蘭栽培を快く見学させてくださり「1年中温度・日照管理をするの。」「全国各地に届けているのよ。」とお話してくれました。初めてたくさんの胡蝶蘭を見ました。圧巻の景色でした。



葛尾村  
公式ホームページ



葛尾村  
観光情報



1 復興交流館あぜりあは葛尾村の中心部にあり復興のシンボルとしてつながり・絆を深める交流施設。イベントや物産販売・展示も行っている。



2 葛尾村森林公園もりもりランド・かつらお。森の中でゆっくりとオートキャンプ・キャンプが楽しめる。4月～11月まで営業。



3 葛尾胡蝶蘭ホープホワイト。苗の状態から6か月かけて丁寧に育てている。花言葉は「幸せが飛んでくる」「純粋な愛」。見学可能。



4 石井食堂は村で愛されている老舗の定食屋さん。大盛のチャーハンはお米を3.5合使用！具沢山でとても美味しい。



5 伝統の保存食「凍み餅」。復興交流館あぜりあでも購入できる。水で戻してから焼いたり揚げたりピザにしたりと様々な食べ方ができる。



6 毎年4月に2日間にわたり開催されるツール・ド・かつらお。公道ロードレースで県外からも多くの方が訪れる。



悠久の時をかけて造られた大自然の造形美「あぶくま洞」。神秘的な世界が広がっており一度は訪れたい場所です。少し離れた場所には国の天然記念物に指定されている入水鍾乳洞も。洞窟をヘッドライト頼りに進んでいくスリル満点な大冒険ができます。昆虫の楽園「ムシムシランド」は、レアなカブトムシやクワガタが飼育展示されており、昆虫好きに必見の施設です。個人的にお人形様探しがとても楽しかった田村市。拝めた時は「会えたー」と喜びをかみしめました。



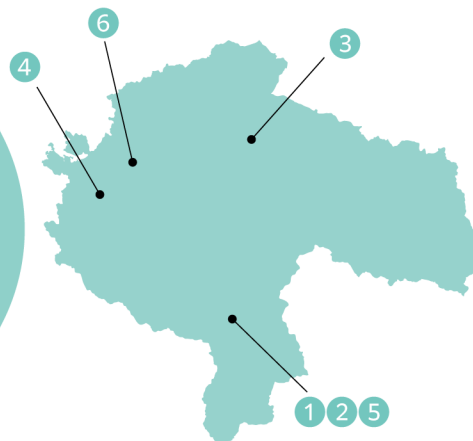
田村市



田村市  
観光サイト



田村市  
PR動画



① 田村市名物あぶくま洞。県外から多くの人を訪れる。6月から7月頃には約5万株のラベンダー畑が広がり散策を楽しめる。



② あぶくま洞と星の村天文台を結ぶ円形歩道橋「天地人橋」。赤い橋を渡って行き来することができる。



③ ムシムシランドのカブトムシドーム。夏季のオープン期間中には、ドーム内に放たれた1,000匹以上のカブトムシと触れ合うことができる。



④ お人形様。魔よけの神様で、県の無形文化遺産に指定されている。4mほどの大きさと堀越、朴橋、屋形の3か所にある。



⑤ あぶくま洞にあるレストハウス釜山の福うな井とじゅうねん冷たれうどんセット。田村市産の「福うなぎ」とえごま(じゅうねん)を一度に堪能できる。



⑥ 田村市ブランド認証「田村の極」に選ばれているハム工場のハム・ウインナー・ベーコン。品質の素晴らしい一品に出会える。



# 南相馬市

# 「野馬追の里」南相馬市

千年以上の歴史があり今なおおつく伝統の神事「相馬野馬追」。銘醸館では甲冑着付け体験ができます。相馬野馬追、振興競馬大会が近づくと、早朝に烏崎海岸で馬が砂浜を駆ける姿を拝むことができます。市内の牧場では、乗馬体験ができ、馬はとても身近な存在です。

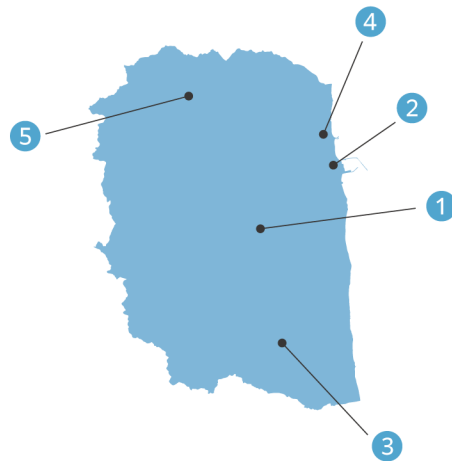
またサーフィンの聖地でもあり世界大会も開催された北泉海岸はいつでも波があって多くのサーファーに愛されています。訪れた平日もサーファーや地元の散歩中の方、海を眺める方が海に集まっていました。馬と青い海と波の音、潮風に癒されに是非南相馬市へ。



南相馬市  
観光ガイドブック



南相馬市  
観光情報



公式サイト



① 相馬野馬追。甲冑で身を固めた約400騎の騎馬武者が時代絵巻を繰り広げる。5月末の3日間、世界に誇る馬の祭典が開催される。



えびなみ北泉



② 北泉海岸。キャラクターサタジャが出迎えてくれる。令和6年は7月と10月にサーフィンの大会が開催された。



③ 小高にある大悲山の石仏。東北地方で最大・最古の石仏群。薬師堂の前には樹齢1000年以上といわれる高さ45mの大杉がそびえたっている。



公式サイト



⑤ 高速道路・一般道から利用できるセッテかしま。相馬野馬追の騎馬武者が出迎えてくれ、お土産の購入・お食事・休憩ができる。名物よつわりパンやまいたけおこわが絶品。



④ 大津波に負けず力強く立ち続けたかしまの一本松。海水により枯れてしまった後も後世に伝える為ここに引き継がれている。烏崎海岸と万葉の里風力発電所の間にある。



# 浪江町

## 「未来に向かって」浪江町

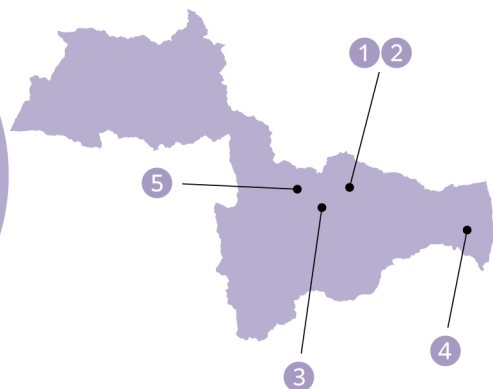
浪江町の復興のシンボルと同時に新生浪江の発信地でもある「道の駅なみえ」。全国で初めての「ラッキー公園 in なみえまち」や浪江町のグルメが楽しめるフードテラス、大堀相馬焼コーナー、酒蔵見学、産地直売所など魅力的なスポットが盛りだくさん。請戸漁港方面には、震災遺構浪江町立請戸小学校があり、被害を受けた校舎・校内をそのまま残して今に伝えています。職員・生徒全員が助かった「奇跡の学校」から何かを感じ大切なことを学ぶことができます。震災後初めての浜まつりが開催された浪江町。進化し続ける浪江町に目が離せません。



地域メディア  
なみえまるみえ



浪江町  
観光パンフレット



① ラッキー公園 in なみえまち。全国で初めて寄贈されている。6点の遊具とピカチュウのベンチがあり子どもから大人まで楽しめる。



② なみえ焼きそば(ニンニク味唐辛子をかけると絶品)＋しらす丼セットと代表カレー。道の駅なみえフードテラスで食べられる。



③ 新町通り沿いにある「おむすび専門店えん」。浪江町産のしらすを使用したじゃこ山椒七味やニンニクみそなどのおむすびが味わえる。



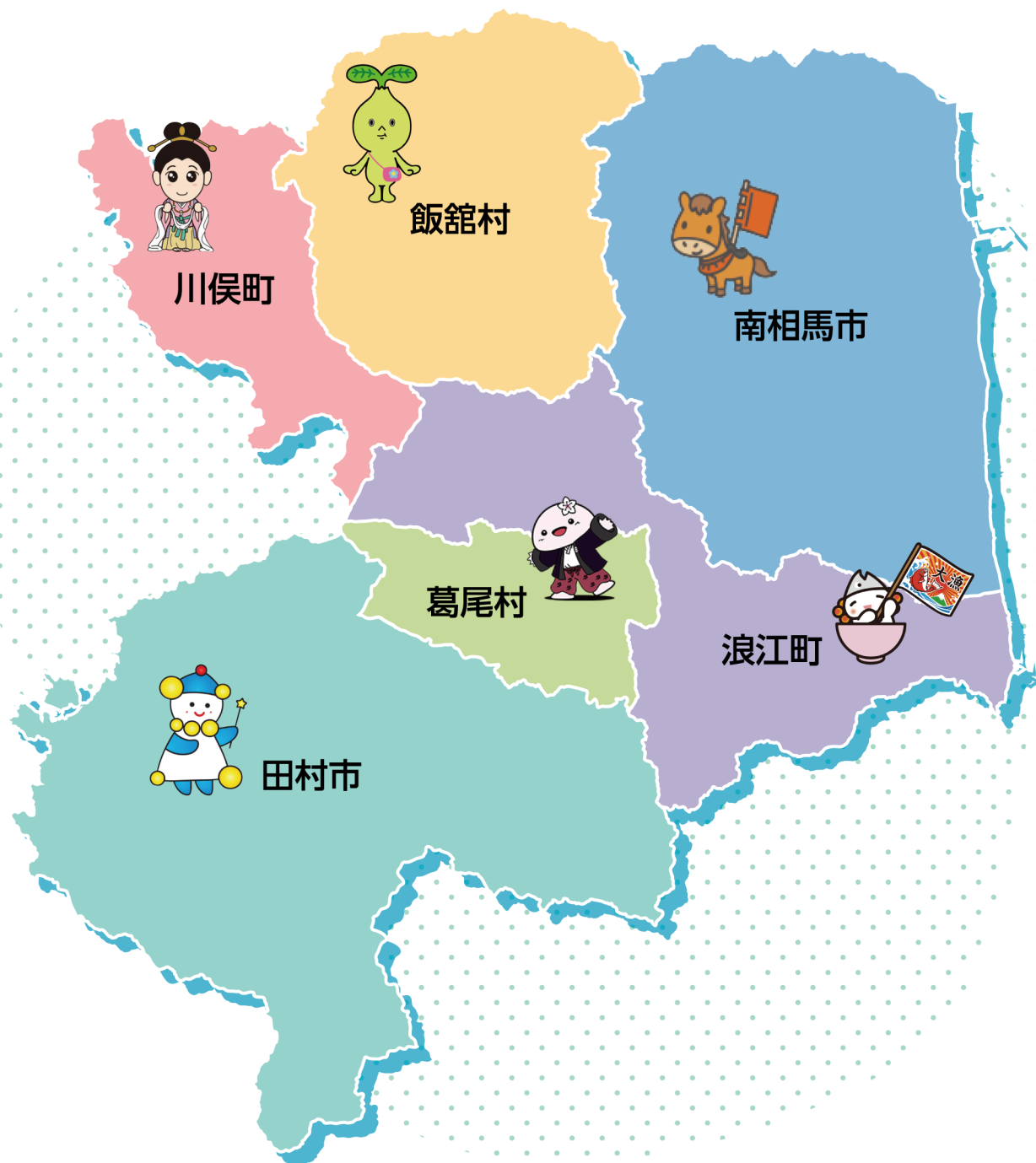
④ 震災遺構浪江町立請戸小学校。津波被害の甚大さをそのままに展示・一般公開している。



⑤ 請戸川リバーライン。福島県の遊歩道五十選に選ばれている。約1.5kmにわたリソメイヨシノが咲き誇る。見頃は3月下旬から4月中旬。



# 福島県6市町村MAP



主催：NPO 法人福島就労支援センター

**☎070-4419-8412** 担当：原

Web サイト：<https://npo-fssc.org>

メール：[info@npo-fssc.org](mailto:info@npo-fssc.org)

このリーフレットは福島県「令和6年度ふるさと・きずな維持・再生支援事業」の補助金の交付を受けて作成しています。



Web